

[ 横浜市民ギャラリー ]  
 平成 24 年度業務計画及び収支予算  
 [ 公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 ]

- ※ 文中の事業欄において、  
 ●：主催事業 ○：共催事業  
 を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、  
 □：定量的指標 ■：定性的指標  
 を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市民ギャラリー
所在地	横浜市中区万代町 1-1
構造・規模	教育文化センター（鉄骨・鉄筋コンクリート造、地下 2 階地上 1 1 階）のうち、地下 1 階、地上 1 階、2 階、3 階部分）
敷地・延床面積	専有延床面積 2,918㎡
開館日	昭和 39 年 7 月

2 指定管理者

団体名	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区北仲通り 40 番地
代表者	理事長 澄川 喜一
代表者設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指定期間	平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針

**【指定管理期間中の使命】**

開設以来 40 余年の歴史と伝統を踏まえ、横浜市が目指す”創造都市”の新たな展開と、その先にある”新たな成長戦略“に貢献することを使命とし、市民の様々な美術活動が潤いと癒しを与え、美術に親しむ心が響き合い、かよいあう美術のオアシス”として親しまれる横浜市民ギャラリーを目指します。

**【業務取り組みの基本的な考え方】**

3つの基本方針

「ともに創る、ともに育む」市民協働のアート活動」

「子どもの時からふれあう“次世代の育成・支援”」

「アートシーンの変化を映し出す」

3つの基本方針のもとに、横浜市中期計画を踏まえ、創造都市横浜からの美術を核とした文化芸術の発信や市民への創造と普及の場の提供、文化芸術活動の支援や文化芸術振興の担い手の育成、子どもたちへの文化芸術体験の機会の提供、市民への美術入門の機会の提供、拠点施設との連携などの役割を果たします。

## 業務の基準の使命の要約

### (2) 24年度の業務の方針及び達成目標

#### 【全体業務について】

市民に美術文化の創造と普及の場を提供する目的で横浜市政初の文化施設として、また全国初の市民ギャラリーとして昭和39(1964)年に開設し、昭和49(1974)年に現在の地に移設され、以来38年(開館から48年)の歴史を刻みました。

しかし、経年の劣化に加え、平成23年3月11日に起こった未曾有の大震災の影響による教育文化センターの閉鎖に伴い、24年度末をもって横浜市民ギャラリーも一時閉館することになります。これにより閉館に伴う措置として、展示室の貸出を例年より3週間ほど前倒し3月11日迄の運営とし、例年3月の初旬から20日ほど開催してきた「コレクション展」の開催を見合わせます。

長年に亘って親しまれた現在の施設で運営する最後の年度にあたり、利用者や地域の方々の記憶に残るよう最後まで市民サービスに努めます。

#### ① 事業について

指定管理第2期の提案に基づいた活動の位置づけとしつつ、2年目としての充実を図ります。

#### 【事業の方針】

この地での活動最終年にあたり、半世紀におよぶ歴史と伝統、さらに当ギャラリーならではの特性を生かした事業を行います。

- ・財団の経営方針を踏まえ、市民ギャラリーの展覧会開催で刻んだ歩みと施設特性を生かし、市民に親しまれつつ次代を切り拓く展覧会の開催
- ・次代を担う子どもの総合的な美術教育の支援
- ・市民やアーティストの美術活動との呼応と協働
- ・利用団体(年間約180団体)、アーティスト、民間ギャラリー(約140ギャラリー)といった創造活動を介した人々とのネットワークの維持形成と活用

#### ② 運営について

利用者の立場に立ったきめの細かいサービスを提供し、安全で安心できる施設運営を心掛けていきます。

- ・利用率100%の維持

指定管理運営7年連続、貸館利用率100%を維持します。

- ・安全で快適な利用しやすいギャラリー環境を維持

築 40 年を経、閉館を控える施設ではありますが、最終営業日までメンテナンスに気を配り、展覧会開催のための丁寧なガイダンスやアドバイスなど利用者の立場にたった対応に努め、ホスピタリティーの向上を図ります。

- ・自主/貸館事業が相互に安定した開催実施

自主事業について積極的に取り組む一方、開催時期や施設管理面で貸館利用団体への影響を考慮し、事前に十分な調整を行います。

### ③ 管理について

- ・収支双方での安定運営

ファンドレイズや助成金など積極的で幅広い財源確保を図る一方、適切な支出管理により、収支面での運営を安定させます。

- ・閉館移転のための作業および費用の見込み

閉館移転にともない、見込まれる作業と費用を適切に把握し、横浜市と随時調整を図りながら、3月31日の閉館まで遺漏ない措置がとれるようきめ細かい管理を心掛けていきます。

## 4 業務の取組と達成指標

### (1) 事業について

#### ア 発信性のある自主事業の実施について

[取組内容]	[達成指標]
<p>①「ニューアート展 NEXT」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●現代美術界をリードした「今日の作家展」(1964-2005)、同時代の美術をわかりやすく紹介した「ニューアート展」(2006-2010)の系譜を受け継ぎつつ、第2期の基本テーマ「創造都市横浜からの発信」を明確に捉え「ニューアート展 NEXT」にふさわしいアーティストを選出します。</li> <li>●開館以来初の映像展の開催 映像が美術の一手法として確固たる地位を築いて久しく、日本における写真発祥の地である横浜、今後の成長が見込まれる映像産業、といった潮流をとらえ、当ギャラリーとして初めて映像を主体とした展覧会を開催します。</li> <li>●横浜美術館、横浜市民ギャラリーあざみ野等との連携</li> </ul>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□入場予定者数：3,500名</li> <li>□開催時期(予定)：9月28日～10月17日(20日間)</li> <li>□協賛金と助成金の目標獲得額：1,000,000円</li> <li>■アンケート：回収率4%、市民満足度4.0以上</li> <li>■ボランティアの参加：のべ50名 前年度に引き続き、作家の制作段階での参加の仕組みを作るなど活動内容の工夫を図ります。</li> <li>■関連事業：展覧会開催期間のアーティストトーク等や「ハマキッズ・アートクラブ」でこども向けの事業も行い、各回とも30名以上の参加を見込みます。</li> <li>■近隣施設との連携：財団が運営する施設はもちろん、東京藝術大学大学院映像学科、県民ホールギャラリーや映像に強いギャラリー・店舗との広報をはじめとした連携を模索し、注目を高める工夫をし、広範囲への紹介・集客を図ります。</li> </ul>

<p>両施設とも写真・映像資料についてのコレクション・経験を有しており、展覧会をより充実させ、来場者の満足度をさらに向上させるべく連携した企画をたて、準備に着手します。</p> <p>●映像表現の理解と発展に寄与 それぞれが異なるキーワード、特性を持って横浜を拠点に活躍しているアーティスト2組を取り上げ、映像の多様性を紹介し、作品と鑑賞者との双方向性を体験してもらうことで、映像文化への理解と発展に繋がります。</p>	
--	--

イ 次代を担う子どもの創造性教育の場の提供について

<p>[取組内容]</p> <p>①●文化芸術の体験の場の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内在住・在学の12歳以下の児童の無審査公募展（7～8月、6日間）</li> <li>・小学生以下対象の造形教室（横浜はじめてものがたり-横浜伝統の職人芸を体験使用）</li> </ul> <p>②●教育機関等への支援</p> <p>美術教育等に関する相談等に対応</p> <p>●「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」参加に伴う市内小中学校授業のコーディネート</p>	<p>[達成指標]</p> <p>①□「横浜市こどもの美術展」の開催</p> <p>開催時期：7/28-8/2(6日間)</p> <p>出品点数：3,000点、入場予定者：10,000名</p> <p>高校生～大人までの広い世帯にわたるボランティア80名</p> <p>ワークショップ参加者300名</p> <p>■満足度4.0以上</p> <p>□ハマキッズ・アートクラブ（全8回、うち1回は「こどもの美術展」内）の実施、各回30名参加、7回で210名。</p> <p>■満足度4.0以上</p> <p>②■美術教育等の相談対応：随時</p> <p>□アウトリーチ：年2校程度の実施</p>
---	--

ウ 市民やアーティストの創造活動支援の場

<p>[取組内容]</p> <p>①●初心者を中心とした絵画教室を実施し、絵画人口・ファンのすそ野を広げる</p> <p>②●市民（16歳以上）の出品作品を無審査で展示する展覧会の開催</p> <p>③●市民ボランティアとの協働 平成14年にボランティア導入以来10年目の前23年度に、ボランティアアンケート等も参考に、自主性・積極性に重きを置く仕組みに大きく変更しました。23年度の良い点うまくいかなかった点を整理し、参加したくなるような仕掛けをボランティアと一緒に考え、更なる活動の充実を図ります。</p> <p>④●自主事業でとりあげるアーティスト支援のためのレクチャーや指導講座の実施</p>	<p>[達成目標]</p> <p>①□全19コース、参加者のべ687名 (レギュラーコース9、単科コース10) ■年度末に「絵画教室卒業生展」の実施</p> <p>②□「ヨコハマ日曜画家展」 第36回展：入場者7,000名、出品点数200点 開催時期：6月19日(火)～24日(日)</p> <p>③■市民ボランティアとの協働 移転後の活動を想定し、開館以来の展覧会図録など資料的価値のある書籍の整理やボランティア通信など自主的な活動を深化させていきます。</p> <p>④■展覧会事業および、ハマキッズ・アートクラブにおいてアーティストを取り上げ新たな活躍の場を創出</p>
--	--

エ 創造活動を介した人々の関わり合いの場

<p>[取組内容]</p> <p>①●民間ギャラリーとの情報交換</p> <p>②●利用者団体・NPO 法人横浜美術友の会（絵画教室受託者）との意見交換</p> <p>③●ボランティア機能の強化</p> <p>④●学校とのネットワーク形成による日常の相談対応等</p> <p>⑤●アーティストとの触れ合いの場の提供</p>	<p>[達成目標]</p> <p>①■ギャラリーネットワークの形成：情報誌やホームページの編集を中心に情報交換を維持します。平成22年度の全面リニューアルによる「アートヨコハマ」「ギャラリーマップ」に加え、平成23年度の6月から発行している市内民間ギャラリーの月ごとの予定を紹介する「横浜市内の展覧会情報」の発行などにより、きめ細かな情報提供を心掛け、市内美術施設の活動を広報面でサポートします。</p> <p>②■協議等：随時</p> <p>③さまざまな活動を通してボランティアとの市民協働を進めます。 □ボランティア交流会：年1～2回</p> <p>④■連絡調整：年間2回程度</p> <p>⑤■・企画展の制作段階での制作ボランティアの募集 ・展覧会期間中のアーティストトーク ・ワークショップでアーティストを講師として取り上げる</p>
---	---

(2) 運営について

ア 創造活動の発表の場の提供について

<p>[取組内容]</p> <p>①教育文化センターからの退去の準備を進めながらの運営になりますが、利用者・鑑賞者の要望に対応する施設環境や利用条件を整えるために、横浜市・財団および管理者である教育文化センターと調整し、開館日数と利用時間を設定します。</p> <p>②条例に定める上限料金に準じた利用料金を徴収します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>①<input type="checkbox"/>利用率 100%</p> <p><input type="checkbox"/>開館について</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="text-align: center;">開館日数</td> <td style="text-align: center;">320日</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">営業時間</td> <td style="text-align: center;">10時～18時</td> </tr> </table> <p>②利用料金</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">展示面積</th> <th colspan="2">利用料金 円/日</th> </tr> <tr> <th>入場無料</th> <th>入場料徴収</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1階展示室</td> <td style="text-align: center;">273</td> <td style="text-align: center;">7,500</td> <td style="text-align: center;">15,000</td> </tr> <tr> <td>2階展示室</td> <td style="text-align: center;">133</td> <td style="text-align: center;">4,500</td> <td style="text-align: center;">9,000</td> </tr> <tr> <td>3階展示室</td> <td style="text-align: center;">997</td> <td style="text-align: center;">30,000</td> <td style="text-align: center;">60,000</td> </tr> <tr> <td>A室</td> <td style="text-align: center;">349</td> <td style="text-align: center;">10,500</td> <td style="text-align: center;">21,000</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">A-1</td> <td style="text-align: center;">193</td> <td style="text-align: center;">5,200</td> <td style="text-align: center;">10,500</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">A-2</td> <td style="text-align: center;">156</td> <td style="text-align: center;">5,200</td> <td style="text-align: center;">10,500</td> </tr> <tr> <td>B室</td> <td style="text-align: center;">304</td> <td style="text-align: center;">10,500</td> <td style="text-align: center;">21,000</td> </tr> <tr> <td>C室</td> <td style="text-align: center;">344</td> <td style="text-align: center;">10,500</td> <td style="text-align: center;">21,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">1,403</td> <td style="text-align: center;">42,000</td> <td style="text-align: center;">84,000</td> </tr> </tbody> </table>	開館日数	320日	営業時間	10時～18時	区分	展示面積	利用料金 円/日		入場無料	入場料徴収	1階展示室	273	7,500	15,000	2階展示室	133	4,500	9,000	3階展示室	997	30,000	60,000	A室	349	10,500	21,000	A-1	193	5,200	10,500	A-2	156	5,200	10,500	B室	304	10,500	21,000	C室	344	10,500	21,000		1,403	42,000	84,000
開館日数	320日																																														
営業時間	10時～18時																																														
区分	展示面積	利用料金 円/日																																													
		入場無料	入場料徴収																																												
1階展示室	273	7,500	15,000																																												
2階展示室	133	4,500	9,000																																												
3階展示室	997	30,000	60,000																																												
A室	349	10,500	21,000																																												
A-1	193	5,200	10,500																																												
A-2	156	5,200	10,500																																												
B室	304	10,500	21,000																																												
C室	344	10,500	21,000																																												
	1,403	42,000	84,000																																												

イ 利用促進及び利用者サービスの向上について

<p>[取組内容]</p> <p>①スタッフのモチベーションを下げることなく、利用者や来場者に平常心で臨み、閉館まで市民サービスの維持向上に努めます。</p> <p>②通常営業の情報提供に加え、「閉館移転に関する情報」「一時休館中の情報」「再オープンに向けての情報」等を横浜市と適宜協議・調整し、利用者・来場者に正確な情報の提供を心掛け、安心・安全にご利用いただけるよう努めます。</p> <p>③施設利用アンケート（「利用者」「来場者」）および各事業アンケートを積極的に採り、日常運営に反映させるとともに移転後の施設運営に活かせるようにします。</p> <p>④関係団体等との情報交換・協力体制の強化</p>	<p>[達成指標]</p> <p>①■閉館まで市民が利用できる日を少しでも増やすよう努めるとともに、日常業務に心を砕き、再オープン後に繋がる管理運営を心掛けます。</p> <p>②■横浜市・財団・教育委員会管理課とも連携し、先々の正確な情報を伝え、安心・安全に利用頂けるよう配慮します。</p> <p>③■アンケート回収率アップを常に心がけ、現状改善はもとより、移転後の運営に活かせるようなアンケート分析を心掛けます。</p> <p>④財団各施設、教育機関、民間ギャラリー等の市内美術施設との情報交換を常に心がけ、利用者・来場者への情報提供としてフィードバックさせていきます。</p>
---	--

ウ 市民ギャラリー所蔵作品の適切な収蔵、保管、調査、研究、発表、活用、展示

<p>[取組内容]</p> <p>①コレクション展</p> <p>②コレクション管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵作品の保全</li> </ul> <p>万全の収蔵庫ではないため、横浜市と協働して約 1,300 点の作品の状態調査を実施、現況を把握し、閉館後の一時保管施設へ作品を移設するまで、開館時からの所蔵品リストを調査・整理・スケジュール管理を滞りなく行います。</p> <p>一方で、日常点検、計画的な定期点検を実施し、維持管理に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報</li> </ul> <p>学芸員の解説付の「アートヨコハマ」を活用した作品の紹介および開館以来の図録の販売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他美術館等への所蔵作品の貸出、熟覧</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>①コレクション展</p> <p>3 月末の閉館を控え、実施を見合わせます。</p> <p>②コレクション管理</p> <p>■収蔵作品の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市が指名する収蔵作品の調査会社とともに作品の状態調査を行い、移転へ向けての整備・スケジュール調整を行います。</li> <li>・原則毎日学芸員が収蔵庫内の目視点検を行います。</li> <li>・日報記載：毎日、データベースの適宜更新</li> <li>・専門業者による空調設備点検の実施：2 回/年</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・□各号（年 3 回発行）で、親しみやすい紹介をおこない、所蔵作品の広報に努めます。</li> <li>・□年内（平成 24 年 12 月まで）は、貸出・熟覧を行います。</li> </ul>
---	--

エ アトリエ及び作品保管室の管理運営

<p>[取組内容]</p> <p>アトリエ及び作品保管室の活用と管理運営</p>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アトリエの利用</li> </ul> <p>■利用率：75%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□自主事業（ハマキッズ、絵画教室、ボランティア活動）、団体展の搬入保管・審査会場としての利用</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保管室の利用</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>□所蔵作品の整理・点検・貸出作業としての利用</li> <li>自主事業の補助的（準備等）利用</li> <li>ボランティア活動の利用</li> <li>団体展の搬入保管・審査会場としての利用</li> </ul> <p>いずれも、施設の使い勝手や日常的に整理整頓をし、清潔さなどの快適性にも常に心掛け利用率を高めるよう努めます。</p>
--	---

オ 事業の実施・管理運営体制

<p>[取組内容]</p> <p>①ローテーション制とし、専門的な人材を配置、機能的、効率的な業務分担による組織力発揮</p> <p>②適切かつ効果的な勤務体制を確立します。</p> <p>③施設の所管である教育委員会や絵画教室の委託先であるNPO法人「横浜美術友の会」等との連携</p>	<p>[達成指標]</p> <p>①早番（8:30～17:15）、遅番（9:30～18:15）の2交代制、展示日、撤去日の重点配置</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">人数</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td style="text-align: center;">1人</td> <td>統括責任者</td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td style="text-align: center;">1人</td> <td>管理運営実務の責任者</td> </tr> <tr> <td>事業担当(固有)</td> <td style="text-align: center;">1人</td> <td>企画展開催、所蔵作品の管理、活用等</td> </tr> <tr> <td>事業担当(固有)</td> <td style="text-align: center;">1人</td> <td>美術教育の支援、相談、講座等の企画</td> </tr> <tr> <td>庶務経理(固有)</td> <td style="text-align: center;">1人</td> <td>庶務、労務、予算等</td> </tr> <tr> <td>貸館運営(嘱託)</td> <td style="text-align: center;">1人</td> <td>貸館事務・運営</td> </tr> <tr> <td>施設管理(嘱託)</td> <td style="text-align: center;">1人</td> <td>貸館運営、維持・修繕等</td> </tr> <tr> <td>アルバイト職員</td> <td style="text-align: center;">3人</td> <td>施設運営全般の補助業務</td> </tr> </tbody> </table> <p>②館長、副館長も含めローテーション体制</p> <p>③日常の適切な維持管理のための連絡調整：随時</p>	項目	人数	備考	館長	1人	統括責任者	副館長	1人	管理運営実務の責任者	事業担当(固有)	1人	企画展開催、所蔵作品の管理、活用等	事業担当(固有)	1人	美術教育の支援、相談、講座等の企画	庶務経理(固有)	1人	庶務、労務、予算等	貸館運営(嘱託)	1人	貸館事務・運営	施設管理(嘱託)	1人	貸館運営、維持・修繕等	アルバイト職員	3人	施設運営全般の補助業務
項目	人数	備考																										
館長	1人	統括責任者																										
副館長	1人	管理運営実務の責任者																										
事業担当(固有)	1人	企画展開催、所蔵作品の管理、活用等																										
事業担当(固有)	1人	美術教育の支援、相談、講座等の企画																										
庶務経理(固有)	1人	庶務、労務、予算等																										
貸館運営(嘱託)	1人	貸館事務・運営																										
施設管理(嘱託)	1人	貸館運営、維持・修繕等																										
アルバイト職員	3人	施設運営全般の補助業務																										

カ その他

<p>[取組内容]</p> <p>①展示室利用料収入年間目標</p> <p>②多様なファンドレイズ等</p> <p>③事務経費削減の努力</p>	<p>[達成指標]</p> <p>①展示室利用料収入：11,000,000円 移転により20日ほど利用開館日数が減じるため、指定管理過去6年間の平均より収入も減じます。</p> <p>②多様なファンドレイズ 助成金&amp;協賛金の目標獲得額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;"><input type="checkbox"/>ニューアート展 NEXT</td> <td style="text-align: right;">1,000,000円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">こども展</td> <td style="text-align: right;">250,000円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ハマキッズ・アートクラブ</td> <td style="text-align: right;">50,000円</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>広告料獲得目標額：アートヨコハマ</td> <td style="text-align: right;">350,000円</td> </tr> </table> <p>③経費削減 移転に向け消耗品・印刷物等の節約、修繕による再利用を心掛けます。 調達コスト削減：早期の委託契約・備品購入・入札の実施</p>	<input type="checkbox"/> ニューアート展 NEXT	1,000,000円	こども展	250,000円	ハマキッズ・アートクラブ	50,000円	<input type="checkbox"/> 広告料獲得目標額：アートヨコハマ	350,000円
<input type="checkbox"/> ニューアート展 NEXT	1,000,000円								
こども展	250,000円								
ハマキッズ・アートクラブ	50,000円								
<input type="checkbox"/> 広告料獲得目標額：アートヨコハマ	350,000円								

(3)管理について

ア 保守管理業務



<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会事務局との連絡調整</li> </ul> <p>施設の利用環境維持のための連絡調整</p>	<p>[達成目標]</p> <p>綿密な連絡調整、相談：随時</p>
--	------------------------------------

イ 環境維持管理業務

<p>[取組内容]</p> <p>①収蔵庫</p> <p>②その他</p>	<p>[達成目標]</p> <p>①・学芸員が、庫内設備および所蔵作品の外観について毎日目視点検を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庫内設備については、年2回以上保守点検を実施し、温度湿度の計測に基づき、庫内環境を良好に保つよう配慮します。</li> </ul> <p>②その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当職員による毎日の目視点検</li> <li>・利用団体に事前の説明を徹底し、破損・紛失等を未然に防ぎます。</li> <li>・修復や買い替えは安全確保を第一優先とし必要な措置は適宜行いますが、移転を念頭に、経費と移転作業の軽減を図れるよう計画的な作業・購入を心掛けます。</li> <li>・施設から日々発生するゴミは市の分別ルールに沿って適切に分別し、教育委員会事務局の回収ルートに則って廃棄します。</li> <li>・産業廃棄物は、専門業者に委託して適切に廃棄し、移転作業の軽減を図ります。</li> </ul>
---------------------------------------	---

ウ 保安警備業務

<p>[取組内容]</p> <p>保安警備</p>	<p>[達成目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■日常点検：開・閉館および業務時間内に午前1回、午後3回、合計6回</li> <li>■業務日誌：毎日の日常点検を必須項目とその他事項を記載し、記録を残します。</li> <li>■教育委員会との協力連携：教育委員会事務局および24時間体制の警備室と日常的に情報の交換・共有を行います。</li> </ul>
---------------------------	---

エ 防災等

<p>[取組内容] 防災</p>	<p>[達成目標]</p> <p>■ 共同防災管理： ・ 教育委員会主催の防災訓練参加：年1回 ・ 自主防災訓練：2回</p> <p>□ 防災マニュアル 教育委員会との共同防災マニュアルおよび独自のより詳細な防災マニュアルを作成し、絵画教室委託者（NPO 法人横浜美術友の会）、利用者（展示室利用団体、アトリエ事業受講者）にも避難経路の確認、緊急時の対応を徹底します。</p>
----------------------	--

#### オ 緊急時の対応

<p>[取組内容] 緊急時の対応</p>	<p>[達成目標]</p> <p>■ 緊急連絡網の作成</p> <p>■ あらゆるケースを想定し、市および教育委員会と日常的に対応を協議し、全スタッフ（館長からアルバイトまで）に対応の徹底を図ります。</p>
--------------------------	--

#### カ 光熱水費の削減努力

<p>[取組内容] 光熱水費の削減努力</p>	<p>[達成目標]</p> <p>■ 使用しない部屋の節電の徹底</p> <p>■ 利用団体に照明について事前協議を十分に行い、必要以上の作品照射については節電への理解を求めます。</p>
-----------------------------	--

#### キ 絵画教室準備室等の提供

<p>[取組内容] 絵画教室準備室等の提供</p>	<p>[達成目標]</p> <p>・ アトリエ室に委託者（NPO 法人横浜美術友の会）の事務機能を置き運営の遺漏・支障ないように努めます。</p> <p>・ 市民ギャラリースタッフと委託者との日常的な相互コミュニケーションを心掛け、絵画教室受講者への柔軟で親しみやすい運営を心掛けます。</p>
-------------------------------	---

#### ク 施設予防保全

<p>[取組内容] 業務全般にわたって準備・整理整頓を徹底し日常に備える</p>	<p>[達成目標]</p> <p>データ管理・備品類を整理整頓し、緊急時に落ち着いて冷静な判断で対処できるよう日常的な準備を怠りません。</p>
--	--

#### (4) PDCA サイクルの確実な運用

##### ア 日報及び月報の作成・管理

<p>[取組内容]</p> <p>日報及び月報の作成と管理</p>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日報、月報を作成・管理します</li> <li>・ 日常業務の中で PDCA サイクルを推進することで、短いサイクルでの早い対応・改善ができるよう努めます。</li> </ul>
-----------------------------------	--

イ 業務計画書及び業務報告書の作成・管理

<p>[取組内容]</p> <p>業務計画書および業務報告書の作成と管理</p>	<p>[達成指標]</p> <p>定められた様式に沿って作成し、管理します。</p>
--	--

ウー 1 業務評価(モニタリングの実施)

<p>[取組内容]</p> <p>モニタリングの実施による業務評価</p>	<p>[達成指標]</p> <p>毎月のモニタリングにおいて、利用状況、施設管理状況、問い合わせ・苦情等、毎月の管理運営状況について報告します。</p>
---------------------------------------	--

ウー 2 業務評価(自己評価の実施)

<p>[取組内容]</p> <p>自己評価の実施による業務評価</p>	<p>[達成指標]</p> <p>業務実績及び利用者の満足度や意見を元に自己評価を行い、以降の業務改善につながるよう努めます。</p>
-------------------------------------	---

ウー 3 業務評価(第三者による評価の実施)

<p>[取組内容]</p> <p>第三者評価の実施による業務評価</p>	<p>[達成指標]</p> <p>外部評価委員会による第三者評価が実施される場合は、横浜市の指示に従い対処します。</p>
--------------------------------------	---

(5) 留意事項

ア 保険及び損害賠償の取り扱い

<p>[取組内容]</p> <p>保険及び損害賠償の取り扱い</p>	<p>[達成指標]</p> <p>施設賠償責任保険による管理瑕疵及び施設管理対応(除く所蔵作品)、不定期臨時雇用保険(事業開催時の単発アルバイト)、横浜市ボランティア保険(市民ボランティア)を掛け、必要時に適切な対応を実施します。</p>
------------------------------------	---

イ 法令の遵守と個人情報保護

<p>[取組内容]</p> <p>法令の遵守と個人情報保護への取り組み</p>	<p>[達成指標]</p> <p>横浜市個人情報保護条例に基づき遵守し、利用者の個人情報の取り扱いを適正に行い、事故のないように努めます。</p>
---	---

ウ 情報公開への積極的取り組み

<p>[取組内容]</p> <p>市民ギャラリーの広報媒体を使って情報公開に努める</p>	<p>[達成指標]</p> <p>情報誌「アートヨコハマ」やホームページ等で公開し、積極的な情報公開に努めます。</p>
---	--

エ 市及び関係機関等との連絡調整

<p>[取組内容]</p> <p>市及び関係機関等との連絡調整</p>	<p>[達成指標]</p> <p>毎月のモニタリングにおいて業務の報告・確認を行います。一方、重要な案件・緊急な案件については、随時横浜市・教育委員会・財団事務局に報告・協議し、適切な処理を心掛けます。</p>
-------------------------------------	---

オ その他

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な許認可及び届出等</li> <li>・施設の目的外使用</li> <li>・名札の着用</li> <li>・人権の尊重</li> <li>・近隣対策</li> <li>・書類の管理</li> <li>・行政機関が策定する基準等の遵守</li> <li>・法律の制定及び改正への対応</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の利便性を優先し、申請書類等の簡素化と迅速な手続きのあり方を工夫します。</li> <li>・美術振興の推進に貢献する目的外使用の範囲をその都度検討します。</li> <li>・施設内での名札着用を遵守します。</li> <li>・あらゆる差別を排除し、人権を尊重する管理運営を行います。</li> <li>・近隣の住民や企業、機関との協調に努めます。</li> <li>・横浜市の文書管理規定を遵守します。</li> <li>・横浜市や神奈川県が策定する基準等を遵守します。</li> <li>・法律の制定及び改正については市との協議の上、迅速に対応します。</li> </ul>
--	--

## 5 収支予算額について

収支予算書

(単位：円)

項目	予算額	備考
収入		
指定管理料収入	60,010,000	指定管理料
利用料金収入	11,000,000	展示室貸館利用料
事業収入	12,495,000	講座系事業の受講料、展覧会時の図録売上、広告料等
その他収入	350,000	情報誌アートヨコハマ広告料収入
合計	83,855,000	

支出		
人件費	44,694,000	館長1、副館長1、固有3、嘱託2、アルバイト3
管理費	11,422,000	光熱水費はじめ施設の維持管理経費
光熱水費	9,900,000	市民ギャラリー専用部分の光熱水費（割当）
消耗什器備品費	362,000	展示室、アトリエ等の什器備品
消耗品費	319,600	蛍光灯、電球等の照明器具
修繕費	250,000	施設修繕
租税公課	10,400	各種契約の収入印紙代
委託費	580,000	照明バトン点検、収蔵庫空調点検等の委託費
事業費	19,635,000	展覧会2本、講座事業、アウトリーチ・市民協働、広報など
事務費	8,104,000	事務運営経費
繰入金支出	1,717,000	財団事務局経費
合計	83,855,000	

収支計	0	
-----	---	--

【別紙】自主事業一覧

No	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場見込	事業費
1	4～3月	主催	絵画教室	アトリエ	初心者中心の絵画教室 全 19 コース(レギュラー 9、単科 10) 3月に卒業制作展を実施	のべ 8,475 名	10,500,000
2	6～1月	主催	ハマキッズ・アートク ラブ	アトリエ	小学生以下を対象とする 造形教室、全 7 回	210 名 (各回 30 名)	750,000
3	6/19-24 6日間	共催	ヨコハマ日曜画家展	1,2,3 階 A 室	市民の無審査公募展。 NPO 法人横浜美術友の会 との共催	7,000 名 出品 200 点	5,000
4	7/28-8/2 6日間	主催	横浜市こどもの美術 展	全 展 示 室	小学生以下を対象の無審 査公募展。	10,000 名 出品 3,000 点	1,250,000
5	9/28-10/17 20日間	主催	ニューアート展 NEXT	1,2 階展 示室	「今日の作家展」「ニューア ート展」の系譜を受け継 ぎ、「創造都市横浜からの 発信」を加味し、初の映像 (2 作家)による企画展	3,500 名	5,300,000
6	6-2014.5月	主催	情報誌「アートヨコハ マ」「ギャラリーマッ プ」「横浜市内の展覧 会情報」の発行		芸術文化の情報提供。 ・ギャラリー情報誌「アート ヨコハマ」(年 3 回発行) ・民間ギャラリーとのネット ワークを活用した別冊「ギ ャラリーマップ」(年 1 回発 行) ・民間ギャラリーの月次情 報「横浜市内の展覧会情 報」(毎月、年 12 回)		1,500,000
7	6-1月	主催	アウトリーチ	アトリエ その他	「横浜市芸術文化教育プラ ットフォーム」へ積極的に参 加、2 校程度実施	400 名	230,000
8	4-3月	主催	市民協働	全館	市民ボランティアと協働に よる広報やアーカイブ活動	のべ 400 名	100,000